

授業科目 リハビリテーション概論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
崎村陽子、高橋榮明、真柄彰、栢森良二、山田謙一		開講時期	後期	必修・選択	必修・必修・必修・選択・選択
櫻井浩治、山田幸男、相場恵美子、荻莊則幸、中野雄一		単位数	1	時間数	30
<p><一般目標：G I O></p> <p>リハビリテーション医学の基本概念を理解する。 リハビリテーション医学での障害とその分類を理解する。 リハビリテーション医学で行う一般的検査及び評価法を修得する。 リハビリテーション医学で対象となる主な疾患の機能障害の病態生理と回復とを知る。</p>					
<p><行動目標：S B O></p> <p>1. リハビリテーションの定義と理念を説明できる。 2. 生活機能と障害の国際分類（ICF:International Classification Functioning）が述べられる。 3. Quality of Life 生活の質の概念が説明できる。 4. 障害の各種の評価が述べられる。 5. 対象となる障害について説明できる。 6. 人間発達障害について説明できる。 7. 対象となる障害に対するリハビリテーション治療の概要が説明できる。 8. 分野別リハビリテーションの概要が説明できる。</p>					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO		学習方法・担当教員	
		番号			
1	リハビリテーション医学総論（A. 歴史と定義、B. 障害とその分類、 C. リハビリテーションの分野、D. 医療従事者とチーム）	1・2・3		講義	高橋榮明
2	リハビリテーション医学【総論】（A. リハビリテーション医学と障害、 B. 障害の評価）	1・3		講義	崎村陽子
3	リハビリテーション医学【総論】（C. 臨床検査）	5		講義	栢森良二
4	リハビリテーション医学【総論】（D. 治療）			講義	真柄彰
5	機能障害・廃用症候群			講義	真柄彰
6	人間発達と障害 知的障害と重症心身障害のリハビリテーション	6・7		講義	山田謙一
7	精神障害のリハビリテーション 障害と心理	7		講義	櫻井浩治
8	視覚障害のリハビリテーション（概論）	7		講義	山田幸男
9	音声・言語機能・咀嚼機能のリハビリテーション	7		講義	相場恵美子
10	障害者の実態と保健・医療・福祉・介護の資源 職業リハビリテーション 社会リハビリテーション 「関係法規と保健医療福祉行政」を含む	8		講義	荻莊則幸
11	地域リハビリテーション	8		講義	真柄彰
12	高齢者のリハビリテーション 住宅福祉機器、脳疾患症例			講義	真柄彰
13	聴覚障害のリハビリテーション	7		講義	中野雄一
14	まとめ			講義	高橋榮明
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		リハビリテーション医学テキスト	三上真弘/石田 暉	南江堂	2000年・5300円
参考書					
その他の資料		必要に応じてプリントを配布する。			
【評価方法】 出席状況、レポート、定期試験により総合的に評価する。			【履修上の留意点】 リハビリテーション概論は医療福祉分野の基本科目中のコアであり、積極的な自己学習が望まれる。 (講義の順番・担当教員は変更になる可能性があります)		